令和８年11月15日執行

稲敷市議会議員一般選挙公報

稲敷市選挙管理委員会

山本しょうじ（61歳） 無所属

市民が主役

あなたの声を誠実に、市政に活かします



山本しょうじのあゆみ

1981年	江戸崎中学校卒業
1984年	土浦第一高校卒業
1990年	茨城大学人文学部社会科学科卒業
同年	㈱チューリップテレビ入社 報道や東京支社を経て
2003年	同社を退社
同年	江戸崎町議会選挙に立候補し初当選
2022年	市議会議員に4期目当選
2022年～2024年	市民福祉常任委員長
現在	姉妹都市交流委理事 塾生任講師 社会福祉法人理事 雁の郷友の会副会長
趣味	短歌、俳句、鉄道など
家族	妻 長女 長男

伊藤ひとし 無所属

働きます！ 稲敷の未来のために



ひとりでも多くの人が、「住んでいてよかった」と満足できる稲敷にしたい

① 災害に強い安心安全なまちづくりに取り組みます。
② 人口減少・過疎対策に取り組みます。
③ 充実した学校教育をめざします。
④ 介護福祉サービスを拡充します。
⑤ 商工業と農業の活性化を図ります。

＊プロフィール
・昭和30年江戸崎町に生まれる
・県立江戸崎高等学校普通科 卒業
・流通経済大学経済学部 卒業
・2006年 稲敷市議会議員 当選
・2016年 稲敷市議会 議会運営委員長
・2018年 稲敷市議会 議長
・2020年 稲敷市 監査委員
・2021年 稲敷市商工会副会長

鈴木あきお 無所属

魅力あふれる稲敷に！



日本が日本でなくなってしまう危機感!

日本が次々と買われていく外国人の土地取得問題、急激に増えていく外国人労働者問題に深い懸念を抱いています。
このままでは日本が日本でなくなってしまうと危機感を持っています。稲敷市も同じではないでしょうか？
私、鈴木あきおは市民の声をひとつひとつ丁寧に伺いながら全力で市政に取り組んでいきます。

地域の皆様が笑顔で安心してゆとりある暮らしを送れるようにしたい。
子供達が夢や希望を持って元気に暮らせる地域にしたい。
市民の皆様と一緒に稲敷市を盛り上げていきます。

①市民の声を徹底的に聞きます！
すっとパンプ前や市役所前で挨拶してきました。これからも立ち続けますのでお気軽にお声掛けいただき、お困りごとをご相談ください。小さな声も拾い上げ、市民の不安や心配事に寄り添います。

②高齢者のための公共交通をさらに充実させます
市の計画している乗り合いタクシーを強く推進し、広く店舗拡充させ、不便な所を改善します。

③農業をさせ続けし、地域振興の拡充させます！
「地元でつくって地元で消費する」！

新しい政治をここから

髙山ひさお 無所属

まじめに、着実に。稲敷を変える。

市民の声を、市政へ、市役所職員、副市長、市議会議員としての経験を活かし、市民の声を聞き、現場を見て、調べ、行政に問い、改善を提案してきました。
言うだけで終わらせない、実現につなげる。



私の4年間の取り組み

1 市民の声を議会へ
定例会で連続15回、一般質問。暮らしの課題を取り上げ、行政の考えと対応を確認してきました。

2 税金の使い道をチェック
予算や事業の必要性、費用、将来の負担を確認し、市民の大切な税金が適切に使われるよう取り組んできました。

3 子どもたちの教育環境を考える
学校再編に関する請願では、紹介議員として1,472名の署名を添えた市民の声を議会に届けました。

市民の暮らしを第一に。

髙山ひさおプロフィール
昭和36年（1961年）1月8日生まれ
昭和54年土浦日本大学高等学校卒業
昭和58年日本大学卒業
経歴／おもな役職歴
昭和58年稲敷市役所入庁（旧江戸崎町役場）
秘書広報課長、市長公室長などの 職責を経て、副市長を拝命（平成30年）
令和４年11月 無所属にて初当選、総務教育常任委員会所属
令和６年12月 総務教育常任委員会委員長、議会運営委員会、議会だより編集委員、成田空港対策特別委員、稲敷地方広域市町村圏事務組合議員
その他の専門資格、行政書士、防災士

これからの稲敷のために



- 子どもたちが安心して学べる教育環境
- 高齢者も安心して暮らせる地域づくり
- 農業と地域経済を支える仕組みづくり
- 水害に備えた防災対策
- 税金の無駄を減らし、将来の負担を抑える市政

見て⇨聞いて⇨調べて⇨問い⇨提案する！

髙山ひさお選挙事務所
〒300-0509 茨城県稲敷市江戸崎乙141（天王地区集会所）
TEL・FAX 029-892-9365
E-mail：g.q.h.taka-1961@outlook.jp

★ご意見をお聞かせください＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
髙山ひさおホームページ
https://hisao-takayama.com

鈴木まさし

あなたの笑顔が未来を創る！
二期目への挑戦！



地域の活性化	子育て・教育	人材育成	産業振興	安心・安全
◆70歳以上の公共施設使用料及び地域公共交通利用料金の無償化 ◆スポーツを核とした元気なまちづくり ◆シルバーリハビリ体操の普及促進 ◆イベント開催（教育発才大会）	◆子育て支援の充実 ◆学力の向上 ◆学校再編の推進 ◆主権者教育の推進 ◆ヤングケアラーの支援	◆スポーツを通した青少年の健全育成 ◆青年海外派遣事業の実施 ◆地域リーダーの養成 ◆次代を担う市議会議員の育成	◆ふるさと納税返礼品の拡充 ◆スマート農業支援 ◆農業を守り未来の担い手の育成 ◆農家個別所得補償 ◆もみ殻対策 ◆官民の連携強化	◆高齢者等への支援の充実（地区お助け隊） ◆災害に強いまちづくり ◆空き家対策 ◆航空騒音対策

若者よ、投票に行こう！「投票しても何も変わらない」というが「投票しなければ絶対に何も変わらない」

政治は暮らし、議員も庶民！　共に築こう地域の未来を！

<プロフィール>

昭和53年	茨城県立土浦第三高等学校普通科卒業（伊武野非郵所属）
昭和53年	日本国有鉄道入社
昭和61年	茨城県青年の船に参加（中国地区）
昭和62年	茨城県青年の翼に参加（ソ連・伝・伊歴訪）
昭和63年	千葉県銚子（汽立学校卒業職員）採用
平成 2年	東町社会人野球連盟会長
平成 8年	東町商店街第１５分団長
平成14年	東町体育協会理事長
平成15年	関東公立高等学校事務職員研究発表大会出席
平成16年	全国公立高等学校事務職員研究発表大会出場（優秀賞）
令和 2年	千葉県議員（茨立特別支援学校卒業生）退職
令和 2年	稲敷市区長会連合会長（稲敷市社会福祉協議会副会長）
令和 3年	神崎町社会福祉協議会非常勤職員
令和 4年	稲敷市都市計画審議会委員
	地方創生方策生総合計画策議員
令和 6年	県議補欠選挙立候補予定
	県議補欠選挙応援予定
◇家　族	妻・子２人
◇趣　味	ハイキング・筋トレ・ゴルフ・人を笑顔にすること
◇座右の銘	為せば成る
◇資　格	レクリエーションインストラクター（弥中総務専員）
	シルバーリハビリ体操３級指導士

無所属現職（67歳）

高野きよし

防災 福祉 産業 まちづくり 経験を力に 稲敷の未来へ



1. 稼げる農業をつくる
農業者の所得向上と担い手の確保を目指します。
2. 有害鳥獣対策を強化する
捕獲体制と防護設備で農作物被害を減らします。
3. 成田空港と圏央道を生かす
企業誘致、物流、観光、雇用の創出につなげます。
4. 高齢者の暮らしを支える
移動手段、医療、福祉、買い物支援を充実させます。
5. 災害に強い稲敷市をつくる
避難所、防災備蓄、訓練、自主防災組織を充実させます。

プロフィール

現　職
稲敷市議会議員 7期 元議長
議会運営委員会 副委員長
成田国際空港対策特別委員会 委員長
稲敷市航空機騒音対策協議会 委員
稲敷市環境審議会 委員長
総務教育常任委員会 副委員長
江戸崎地方衛生土木組合議員
稲敷市防災士連絡協議会 理事

資　格
防災士 ／ 茨城県薬物乱用防止認定講師

学　歴
東洋大学付属牛久高校卒業
東海大学文学部卒業

議員以外の活動
ＮＰＯ法人日本医療救援機構 ―MeRU JAPAN―（副代表 及び 国際部副部長 ロジスティクス担当）
茨城県災害派遣福祉チーム（いばらきDWAT）
茨城県地球温暖化防止活動推進委員
青少年育成稲敷市民会議 副会長
竜ヶ崎きぼうライオンズクラブ

趣　味
料理(餃子はプロ級!)
蛍の保護・飼育(29年目)
賽銭(日本ミツバチ)
ハチミツを稲敷市の名産品にしたいと思います。

中村三郎

住んでるまちから 住みたいまちへ

元気ある稲敷市づくりをめざします！





プロフィール
- ●昭和22年8月15日生
- ●元 東町議会議員（平成11年～）
- ●元 稲敷市議会議員（平成18年）
- ●元 議会産業建設常任委員会委員長
- ●元 本新土地改良区理事
- ●元 新利根川土地改良区総代
- ●元 西代区長
- ●元 西代区監査委員
- ●江戸崎地方衛生土木組合議員
- ●西代地区資源保全活動組織監査役
- ●稲敷市議会議員（三期）
平成26年～令和8年まで

稲敷市の発展と地域の皆様の為に頑張ります。

森田 いさむ



わたしにみなさんの声を聴かせてください。

わたしに話してください。
一緒に考えさせてください。
皆さんは今、何が必要ですか？
何があれば生活が豊かになりますか？
そして、安心して生活できますか？
わたしは、**自分の考えではなく皆さんの考えや要望をもとに活動してまいります。**
老後の生活（買い物、健康）、子供たちの将来（学校、進学）
農業の将来（稲作の継続）、地元の就職（産業の振興、企業立地）
皆さんと変えていきましょう。

稲敷を笑顔に
あなたに笑顔を

【経歴】
昭和三十四年稲敷市生まれ
土浦日本大学高等学校卒
日本大学法学部卒
茨城県警察官
三十二年奉職

【特技】
庭木、植木の剪定
人の顔と名前をすぐに覚えられること

【座右の銘】
不要な枝を切らずに必要な枝を残す

投票日 11月15日(日) 午前7時から午後7時まで

投票日の当日、仕事や用事などで投票所へ行けない方は、期日前投票ができます。

期日前投票　11月9日(月)から14日(土)まで
午前8時30分から午後8時まで

期日前投票場所　稲敷市役所本庁舎、新利根公民館、桜川公民館、東支所

※この選挙公報は立候補者から提出された原稿をそのまま写真にとり、縮小して印刷したものです。

令和８年11月15日執行

稲敷市議会議員一般選挙公報

稲敷市選挙管理委員会

投票所番号	投票所名	場所
1	江戸崎第１投票区	稲敷市役所
2	江戸崎第２投票区	江戸崎中央公民館
3	君賀投票区	君賀コミュニティセンター
4	沼里投票区	沼里コミュニティセンター
5	鳩崎投票区	鳩崎コミュニティセンター
6	高田投票区	高田コミュニティセンター
7	根本投票区	根本共同利用施設
8	柴崎投票区	新利根小学校
9	九軒投票区	九軒共同利用施設
10	伊佐津投票区	新利根公民館
11	太田投票区	いこいのプラザ
12	浮島投票区	浮島中央集落センター
13	古渡投票区	桜川こども園
14	神宮寺投票区	神宮寺集落センター
15	須賀津投票区	桜川公民館
16	佐原組新田投票区	あずま生涯学習センター
17	結佐投票区	稲敷市東支所
18	西代投票区	西代農村集落センター
19	伊佐部投票区	あずま北小学校
20	幸田投票区	幸田農村集落センター
21	福田投票区	あずま西小学校

稲敷市の未来を託すこの一票



稲敷市議会議員一般選挙

投票を忘れずに！



投票日 11月15日(日)

投票時間は午前7時から午後7時までです

投票日 11月15日(日) 午前7時から午後7時まで

投票日の当日、仕事や用事などで投票所へ行けない方は、期日前投票ができます。

期日前投票　11月9日(月)から14日(土)まで
午前8時30分から午後8時まで

期日前投票場所　稲敷市役所本庁舎、新利根公民館、桜川公民館、東支所

※この選挙公報は立候補者から提出された原稿をそのまま写真にとり、縮小して印刷したものです。

令和８年11月15日執行

稲敷市議会議員一般選挙公報

稲敷市選挙管理委員会

農業と安心を次の時代へ！



中沢ひとし（51歳）

中沢ひとしの決意

私は、稲敷市で生まれ育ち、今年で51歳となりました。39歳で、稲敷市議会議員選挙に挑戦し、当選をすることが出来ました。
これまで、様々な経・体験をし、また、議会議員として3期12年間を活動させて頂きました。
これからも、大好きな稲敷市のため、市民の皆様の身近な問題解決のため、誠心誠意努力いたします！
皆様には、「若さと行動力、そして実行力」にご期待いただき、今後とも一層のご指導とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

これからの目標とする取組み

- 農業振興
- 稲敷東IC周辺開発
- ひとり親・高齢者支援
- 外国語教育支援

農業 教育 福祉

安心できるまちに！

プロフィール

昭和50年（1975年）6月14生まれ
【学歴】
昭和 63 年 東村立西小学校卒業
平成 3 年 東村立東中学校卒業
平成 6 年 千葉県立成田北高等学校卒業
平成 10 年 東京農業大学農学部農業経済学科卒業
【職歴】
平成 10 年 帳成印刷株式会社入社
平成 21 年 なかざわ農場代表（レンコン・お米）
平成 26 年 稲敷市議会議員選挙初挑戦初当選
平成 30 年 稲敷市議会議員選挙再選【第２期目】
令和 4 年 稲敷市議会議員選挙再選【第３期目】
令和 6 年 稲敷市議会 副議長就任
【現職】
●稲敷市議会議員
●稲敷市農地利用最適化推進員【第３期目】
●稲敷市消防団本部【第４方面隊副方面隊長】

市民と共に前へ！ 稲敷の未来を、動かす！



自民党公認 染谷くにか

政治信条

・市民の生活を 守る、命を 守る、地域を 守る、日本を 守る
・郷土愛を育み、愛国心を持てる社会を つくる
・自民党の党改革を 地方から目指す

これからの5つの重点政策

1. 成田空港の発展を稲敷の翼に ～空港と共に進化するまちへ～ 空港就業者500人の市内定住を目指す
2. 人口減少に挑む ～子育て・教育で住み続けたいまちへ～ 目標:社会増減 ▲107人（R6）→ ±0へ
3. 「まちづくり公社」で稼げる稲敷 ～地域産業の発展と雇用の創出を～ ふるさと納税10億円を目指す
4. 農地を守り、農業で稼ぐ ～次世代へつなぐ農業へ～ 荒廃農地10haの再生・活用モデルに挑戦
5. 暮らしと命を守る ～高齢者にやさしく、防災に強いまちへ～ インフラ整備と 公共交通人口カバー率80%を目指す

議会改革 ハラスメント を許さず、互いを尊重する議会へ。
議員ハラスメント研修を行い 議会を改革中。責任ある議論と行動で、稲敷の未来を動かす。

空港を活かす、人を呼ぶ、地域で稼ぐ。
その成果を、市民の暮らしへ。
「住み続けたい」「帰ってきたい」
「ここで子育てしたい」稲敷を、次の世代へ。

プロフィール
1975年稲敷市新利根生まれ
駿徳大学附属稲敷高等学校英語科卒業
東京学芸大学入学同期生と学芸祭実行委員
茨城県学校教育などを経て、成田国際空港職員
TOEIC990点を取得(社会人時代)
自民党女性局幹事成立へ奔走
法政大学大学院社会学修士
2022年稲敷市議会議員に初当選

現、市民連絡会委員会副委員長
現、議会だより編集委員会委員
稲敷市女性活躍推進会議委員
稲敷市立城南幼稚園PTA元副会長
稲敷市立江戸崎小学校PTA元副会長
2026年自民党茨城県連青年局次長
千葉大学法学部卒業
●自民党茨城県連青年局女性部副部長

▲YouTube
▲Instagram

成田空港の発展を稲敷の成長へ。人口減少に挑み、誰もが安心して住み続けられるまちをつくります。

市民の声を代弁する



黒田かずき 34歳 新人

稲敷の今と未来のための3つの挑戦！

稲敷市人口増加の挑戦
- 農業を中心とした若い世代の移住
- 子育て世代の住みやすい稲敷
- 跡継ぎ不足を補う仕組みの確立

安心安全なまちづくりへの挑戦
- 防災・防犯の充実を図り安心して暮らせる稲敷へ
- 市民が感じる不安の払拭
- 子どもを安心して預けられる小中学校の設備

魅力ある稲敷を造る挑戦
- 各学校のイベントを広く発信
- ふるさと納税の充実
- 新たな稲敷の一面を発見する

若き力カラを 稲敷の未来のために！

黒田かずき プロフィール
1992年（平成４年）２月生まれ34歳（旧 桜川村生まれ）
水戸工業高等学校卒業
中央工学校卒業
市内の小中学校の未来を考える会　会長

愛と夢あふれるまちづくり



寺崎久美子

安心安全・命を守ることを最優先に夢と愛あふれる街づくりを目指します。

私、寺崎久美子は稲敷市で生まれ、育ち、学び、就職をし、結婚、子育てをしてまいりました。その間に稲敷市は大きく変わり進んできましたが、圏央道が開通し、今新しい時代に向けて新たな変化が必要な時を迎えていると感じます。
行政の政策が真に市民のためになっているかを厳しく検証し、市民の声を届けます。市民の疑問を解消し、安心・安全と命を守ることを最優先に、未来を見据えた建設的な議論を尽くします。唯々諾々と承認するのではなく、良い代替案を提示する是々非々の姿勢で臨みます
市民の声に耳を傾け、その知恵やアイデアをもとに循環型まちづくりに取り組みます。
皆様の温かいご支持ご支援をよろしくお願い申し上げます。

プロフィール
・昭和 38 年７月４日(63才)
推薦生まれ(旧妙中澤)
・高田小学校、江戸崎中学校卒
・茨城県立江戸崎高等学校卒
・自由が丘産能短期大学卒
・元 あずま北小学校ＰＴＡ会長
・元 北小学校、東中学校 学校評議員
・現 稲敷市青少年相談員
・現 江戸崎ライオンズクラブ所属
・現 食生活改善推進員
・現 防災士連絡会所属
・好きな言葉 向上心

1. 執行部の監視「市民目線」で検証 情報の透明化と共有 チェック機能の強化 計画や予算が、真に市民利益になるか、厳しく検証、適正な使途を求める
2. 安心安全・命を守る議論を最優先 市民の生命と財産を守る 災害対策、犯罪防止、感染予防対策 公助・共助・自助の連携で、誰もが安心できる地域社会の実現。
3. 市民の声を届けるパイプ役 切実な願いや不安解消 現場第一で、日常的な聞き取りを心がけ、行政に届ける架け橋として、対話を重視、多様な声を反映させる
4. 持続可能な将来を見据えた議論 中長期的な視点 少子高齢化、環境問題、財政健全化などの課題。将来の世代にツケを残さない行政運営推進。

純粋に聞き、一途に動く。住みよい稲敷を次の世代へ。



ふちがみ純一

このまちで生まれ、このまちに恩返ししたい。

プロフィール・これまでの歩み
- 55歳・新人／稲敷生まれ、稲敷育ち
- 1971年（昭和46年）9月2日生
- 江戸崎町立君賀小学校 卒業
- 江戸崎町立江戸崎中学校 卒業
- 土浦日本大学高等学校 卒業
- 湘南工科大学 卒業
- 日本空調サービス株式会社 勤務
- 君賀小学校PTA会長 歴任
- 稲敷市消防団分団長 歴任

3つの経験
- 働く 民間企業で培った実務感覚
- 育てる PTA会長として子どもたちを支える
- 守る 消防団分団長として地域を守る

4つの重点政策
1. 子育て・教育・スポーツ：子育て支援の充実 教育環境・通学路の整備
2. 高齢者・医療・福祉：通院・買い物の移動支援 医療・介護体制の充実
3. 農業・商工業・地域経済：農業の担い手支援 地元企業・商店への支援
4. 防災・道路・生活環境：水害対策の強化 生活道路・排水設備の整備

椎野たかしの政策 市民生活第一。あなたの声を市政に活かす！



椎野たかし

地域社会を創出するための4つのスローガン！

①子ども,高齢者,障がい者への福祉充実
②公共交通の充実
③農業政策,防災,地域格差の是正
④護憲,平和脱原発 脱原発



椎野たかし プロフィール
茨城県立江戸崎高校卒業
元建会茨城稲敷地区協 幹事長
JP 労組筑波支部退職者の会副会長
県南平和フォーラム事務局長
現在二期目

椎野たかし選挙事務所
あなたの声を聞かせてください。
稲敷市椎塚997-1
TEL・FAX 029-869-4399

投票日 11月15日(日) 午前7時から午後7時まで

投票日の当日、仕事や用事などで投票所へ行けない方は、期日前投票ができます。

期日前投票 11月9日(月)から14日(土)まで
午前8時30分から午後8時まで

期日前投票場所 稲敷市役所本庁舎、新利根公民館、桜川公民館、東支所

※この選挙公報は立候補者から提出された原稿をそのまま写真にとり、縮小して印刷したものです。

令和８年11月15日執行

稲敷市議会議員一般選挙公報

稲敷市選挙管理委員会

人をつくり、まちをつくり、未来を創ります！



しのだ純一

しのだ純一は、誠実に、そして情熱をもって市政に挑みます。政治は生活です！

誠実に、市民目線で、市民とともに活動します。人づくりは教育から！

しのだ純一の推進する施策
- ◆学校教育環境の整備
- ◆社会教育環境の整備
- ◆農地の保全と農業の振興
- ◆安心安全なまちづくり
- ◆活力と魅力あるまちづくり

しのだ純一 プロフィール
1971年8月稲敷市（旧桜川村）生まれ
日本医療秘書専門学校卒業
日本情報処理短期大学校卒業

■経歴／おもな役職歴
平成22年12月稲敷市議会議員選挙 無所属で初当選 現在４期目
桜川地区認定こども園開設準備委員会委員長、産業建設常任委員会委員長
議会だより編集委員会委員長、結務教育常任委員会委員長
議会運営委員会委員長、議会改革調査特別委員会委員長
第十代稲敷市議会議長、稲敷市監査委員

しのだ純一選挙事務所 〒300-0642 茨城県稲敷市下馬渡926-4 TEL/FAX 029-894-3302

公明党 一人の声を大切に!! いのちを守り、暮らしに寄り添う 政治で未来の安心を広げます!!

公明党公認 黒さわ きよ子 54歳 新人

黒さわ きよ子【3つの安心】



安心して産み育て学べるまちへ
- 無痛分娩費用の補助
- 平和学習の充実
- 帯状疱疹ワクチン接種費用の無償化
- がん検診の受診率向上を推進

誰も孤立させない支え合いのまちへ
- 地域の見守り強化
- 空き家対策の推進
- デマンド交通やタクシー券助成を充実
- エコキャップ運動による環境保全

災害に強い安全に暮らせるまちへ
- 感震ブレーカーの設置費用の推進
- 避難所の環境改善
- 女性・子ども・高齢者に配慮した防災へ

皆様の声をカタチにします！

黒さわ きよ子 プロフィール
●生年月日／昭和46年12月3日
●家族構成／夫・長女・長男
●生活心条／越えられない壁はない
●趣　味／レトロ雑貨めぐり
●経歴／創価女子短期大学卒業
稲敷市立江戸崎幼稚園PTA元副会長
稲敷市立江戸崎小学校PTA元副会長
公明党稲敷副支部長　谷洲糸東浦立手話校

黒さわ きよ子 QRコード

「人口減少」に負けない市政を!!



岡沢りょういち 51歳

4期16年の経験と実行力で、暮らしを守り、地域を伸ばします！

1. 子育て支援の充実に取り組みます。 保育・学童・子育て相談の充実を進め、安心して子どもを産み育てられる環境を整えます。
2. 若い世代の定住促進を進めます。 住宅支援や空き家活用を進め、若者や子育て世代が住み続けたい、戻ってきたいと思えるまちを目指します。
3. 高齢者にやさしい地域づくりを進めます。 買い物や通院への支援、地域交通の充実、見守り体制の強化に取り組みます。
4. 農業・商工業を支え、地域経済の活性化を進めます。 地元産業を応援し、働く場を守り、地域に元気を取り戻します。
5. 防災・減災対策を強化します。 水害・地震・停電などへの備えを進め、安全・安心に暮らせるまちづくりに取り組みます。
6. 道路・排水など生活インフラの整備を進めます。 身近な不便を見逃さず、道路、排水、通学路など生活に直結する課題の改善に取り組みます。
7. 教育環境の充実に取り組みます。 子どもたちが安心して学べる環境を守り、未来を担う人材の育成を進めます。
8. 市民の声が届く、開かれた市政を実現します。 対話を大切にし、わかりやすい情報発信と市民目線の市政運営に努めます。

プロフィール
昭和 50 年 8 月生まれ／江戸崎中・土浦日大高卒業／拓殖大学大学院地方政治行政研究科卒業／平成 22 年稲敷市議会議員選挙初当選（現在４期目）／令和４年～６年稲敷市副議長／第十四代方面隊長／稲敷の未来を考える会・茨城県軟式野球連盟顧問／地元稲敷町・稲敷市消防団（第 23 分団）所属

"笑顔の対話"あなたの声を届けます!!



公明党公認 松戸 ちあき 65歳

安心をもっと身近に、もっと大きく

松戸ちあきの想い

松戸ちあきの主な実績

安心して暮らせる稲敷へ
- 物価高騰対策を推進 「暮らし応援商品券」を推進(1人1万円分)
- 小・中学校入学、中学校卒業時に商品券の贈呈を推進(各2万円分)
- 移動負担を軽減「タクシー券」の拡充(700円→最大半額3,000円)

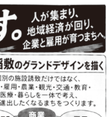
松戸ちあき プロフィール
■生年月日／昭和36年8月19日
■生活信条／感謝、笑顔　■趣味／音楽鑑賞
■略歴／稲敷市議会議員4期・稲敷市議会議長
・前議会運営委員長・防災士、歯科衛生士
・元江戸崎地方衛生士会理事長
・稲敷市手をつなぐ育成会副会長
・公明党県本部女性局次長

いのちを守る稲敷へ
- 帯状疱疹ワクチン接種費用の一部助成
- 高齢者見守りサポート事業の推進
- 登下校時の「ながら見守り」で防犯力強化

未来を守る稲敷へ
- 避難所の環境改善、感震ブレーカー設置費用補助の推進
- 安心して産み育てられる子育て支援体制の拡充
- デマンド交通の導入・充実

一人ひとりに寄り添う稲敷へ
- さらなる支え合いの福祉と地域見守り体制の充実
- いのちの尊さを学ぶ教育と学力向上の強化
- 「健康長寿社会へ」がん検診の受診率向上を推進

稲敷未来ビジョン 稲敷を今、動かす。人が集まり、地域経済が回り、企業と雇用が育つまちへ



無所属新人 小沼常雄 江戸崎在住 63歳

不動産共同企業
製造業・交通監査4年
JIS品質管理責任者

1 人口減少の現実を直視
このままでは、2060年に約2万人へ。
稲敷市の人口推計（国勢調査）
現在の人口 35,756人 2060年 約2万人
2010年 2015年 2020年 2060年
人口減少を様々な分野において食い止めます。

2 なぜ、稲敷は選ばれないのか？
なぜ、稲敷市にはAEONやUNIQLOもないのか？
日々の買い物はネットですませばよい。ショッピングだけなら、利便性の高い都心へ行けばよい。
また、結合病院もないため、急病患者は同じく都心へ。
通勤、通学も都心に向かう。
なぜ、稲敷は選ばれないのか？
そこに、稲敷人のニーズがあります。

3 稲敷のグランドデザインを描く
個別の施設誘致だけではなく、商業・雇用・農業・観光・交通・教育・医療・暮らしを一体で考え、企業が進出したくなるまちをつくります。
交通・インフラ／商業／雇用／ニュータウン／稲敷のグランドデザイン／農業・食／医療・福祉／暮らし／教育・人材育成
街全体を成長軌道に乗せる！

4 成田の勢いを、稲敷の未来へ
成田エアポートシティ構想（SORATO NRT）と連携し、空港の成長を稲敷の成長・雇用・観光につなげる。
関・茨城県・稲敷市などによる広域連携協議会の設置を目指す
物流・産業／観光・交流／雇用創出／広域連携

5 道の駅常総×豊洲千客万来
成功モデルを稲敷へ。
食・農業・交流を一体となった次世代の地域拠点を創る。
ハブ拠点を創る
地元の農産物直売
食・グルメ
交流施設
地域ブランド発信
雇用の場
観光客の増加
この成功モデルを稲敷の可能性に。

6 市役所に市民目線の「すぐやる課」を！
小さな困りごとも迅速に解決し、暮らしやすいまち。
市民目線のすぐやる課（仮称）
生活支援の相談・対応
道路・公共施設の点検
雪かき・草刈り
防犯パトロール
高齢者の見守り
空き家・空き地の管理
ボランティアマッチング
ボランティアマッチング

7 三本の矢で地域を成長させる（広域連合等）
稲敷市・美浦村・河内町が予算を持ち寄り、広域連合を設立。一体で取り組むことで、事業では難しい規模を実現します。
美浦村：JRおうくらセンター 観光農業公園 観光・交流・スポーツ
稲敷市：リーディングハウス 農業・物流 農業・食品 広域拠点
河内町：農業・食文化の 農水産アクセス 産業用地

8 政治は結果です！
従来型の発想から脱却し、全体のグランドデザインを描き、着実に実行します。
今後のSDGs、稲敷の未来を考えます。
だからこそ、議会の「チェック機能」も必要です。
新しい風を！
行政チェックができます。
積極的な政策提言で市政を動かす。

9 そして何より大切なのは、施設をひとつ造って終わりにしないことです。
人が集まる（交通人口）／お金が回る（企業が育つ）／雇用が生まれる（地域経済）／若い世代が住み続けたい（人口減少を止める）
この循環を生み出すことが、稲敷の未来を変える力になります。
稲敷には豊かな自然、歴史文化という強みがあります。
「稲敷には何もない」ではなく、「稲敷にあるものを、どう活かすか」だけが大きな違いになるかどうかの視点こそ、これからの稲敷に必要なのだと思います。

挑め！未来の稲敷 住み続けたい。帰ってきたい。そんな稲敷へ。



今泉ゆうき 33歳 無所属

今泉ゆうきが取り組む3つの柱

1 福祉
- 福祉交通網の整備 交通の利便性を強化します。
- 児童福祉の拡充 子供の学習支援や、居場所づくりを強化します。
- 高齢者世帯を支える 見守り体制の強化や、交流の場を提供します。

2 スポーツ振興
- 部活動の地域移行を支えます 指導者の確保、安全体制を築きます。
- 体育館を使いやすくします 暑さ対策、予約方法の見直しを推進します。
- 大会や、合宿を誘致します 施設の受け入れ体制を強化します。
- 地域クラブの支援を行います 継続可能なクラブにする為に支援を強化します。

3 若者の移住定住支援
- 働く場所と、選択肢を増やします 企業との説明会を開催し、職業の選択肢を増やします。
- 空き家、住まいの支援 気軽に住めるまちにする、住まいの提供をします。
- 市街化調整区域の緩和 稲敷での起業、企業誘致、住宅建築をスムーズに行えるように働きかけます。

今泉ゆうき プロフィール
麻生高校卒業後、東海大学卒業。
稲敷市地域おこし協力隊を経て、現在は卓球＆フィットネス　タクネスイナシキを経営。
すべての市民が挑戦できる環境、高齢になっても安心して暮らせる仕組み、若い世代が住み続けられるまち。
その実現に、制度や仕組みをつくる立場から与関わりたいと思い市議選に立候補しました。

稲敷市の未来を託すこの一票



稲敷市議会議員一般選挙

投票を忘れずに！



投票日 11月15日(日)

投票時間は午前7時から午後7時までです

※この選挙公報は立候補者から提出された原稿をそのまま写真にとり、縮小して印刷したものです。